



バンカラの伝統をつなぎ、
応援で人をポジティブに！

「5月9日(土)に行われる『仙台一高・二高硬式野球定期戦』、ぜひ見に来てください」と意気込むのは、仙台第一高等学校3年、応援団・幹部長の鎌田啓輔さん。「先輩方が定期戦で旗を振る姿に心を打たれ、この伝統を守り抜く応援団の一員になることを決断しました。」



仙台第一高等学校3年生 応援団・幹部長

かまた けいすけ
鎌田 啓輔さん

2009年利府町生まれ。利府町立青山小学校、利府町立しらかし台中学校卒業。2024年4月仙台第一高等学校入学。同年10月、90年以上の歴史を紡ぐ応援団に入団。以後、一年を通して伝統のポロポロの学生服に高下駄姿で登下校し、授業中も同じスタイルで過ごす。この5月に行われる『仙台一高・二高野球定期戦』※1を契機に応援団の活動を後輩に引き継ぐ。

十符人

「とふとー」

「十符人(とふと)」では、毎月、利府の魅力づくりや魅力発信に貢献している方を取り上げていきます。

入学直後に応援歌の指導を受けた時も、こんなにも自分の学校を愛せるっていいなと思いました。そして1年生の10月にバスケットから応援団へ。その後は応援団の伝統で髪を伸ばし続け、真夏も真冬も先輩から代々受け継がれてきたポロポロの学生服というバンカラスタイルで利府駅と一高の間を登下校し、授業中もずっと同じスタイル。「両親の反対を押し切った入団でした。が、今



一高の合格発表時、応援団の皆さんが立ち並ぶ。



定期戦前のアピール行進

※1: 明治時代から続く仙台一高と仙台二高の硬式野球部定期戦。定期戦前にはバンカラの仙台一高とハイカラの仙台二高の全校生徒が応援団を中心に仙台市中心部のアーケード街を練り歩き、西公園でエールを送り合う両校のプライドをかけた熱い交流が繰り広げられる。

は母も応援してくれています」と語る。「応援には人をポジティブにする力があります。野球部はもちろんバスケットや陸上部などいろいろな部活の応援に行くのですが、応援の力があつたから踏ん張れた、集中できたと言われると本当に嬉しいです。友達もたくさんできました」と笑顔の鎌田さん。「私達一高応援団・第91代のテーマは『貫穿(かんせん)』。本質を追い求めるという意味です。5月の定期戦が終わると断髪式が行われ、学生服も後輩に引き継ぎますが、少し寂しい気持ちもありますが、これからも応援団の心意気をつないでいってほしいです」とお話しいただきました。

利府町公式キャラクター 十符の里の妖精 **リーフちゃん**

利府町郷土資料館公式キャラクター **あさガオー・みヤギー**のLINEスタンプを販売しています!



十符の里の妖精リーフちゃんと「ミュージアムキャラクターアワード」で2024年、全国第1位を獲得した「あさガオー」と「みヤギー」のスタンプを販売しています。利府町の観光と笑顔をお届けするスタンプになっていますのでぜひご利用ください。

＼スタンプはこちらから！／



リーフちゃん



あさガオー・みヤギー

